



青森県立
七戸養護学校です！
よろしくお願いします！



卒業生が考えた
マスコットキャラクター
「ななちゃん」

城内町内会様を通じて、「七戸養護学校のコミュニティスクールだより」をより多くの方々にお届けできることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

七戸養護学校は、七戸町にある特別支援学校です。小学部から高等部まであり、知的障がいと、肢体不自由のお子さんが学校生活を送っています。今年度の児童生徒数は215人で、七戸町、十和田市、六戸町、おいらせ町、三沢市、東北町、六ヶ所村、野辺地町、(そのほかの地域のこどもも少人数通っています。)から通っています。

「絵と花のある学校、こどもたちの歌声がひびき、笑顔いっぱいの学校」が、本校の特色です。「絵」「花」「歌」を通じて地域の方々との協働活動を進めていきたいと考えております。ぜひ、ご理解、ご協力をお願いいたします。

応援団の活動 ～予告編～

今年度七戸養護学校では、学校と地域の方々との協働活動を行う「応援団」の活動を計画しています。学校周辺の環境整備および、学校内での清掃活動などを行いながら、児童生徒と挨拶を交わしていただいたり、こどもたちが慣れた様子になったら一緒に活動をしていただければと考えております。キーワードは「できるときに、できることを！」です。気楽にご参加ください。

来月のおたよりで募集のお知らせをお届けできると思います。地域みなさんには、ご参加についてご検討いただければうれしいです。よろしくお願いいたします。

※応援団の活動はボランティア活動です。報酬はありません。ご了承ください。

ごあいさつ

日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本校では、こども一人一人の個性と可能性を大切に、安心して学び成長できる環境づくりに努めています。日々の学習や生活の中で、こどもたちは小さな成功体験を積み重ね、自信を育みながら着実に歩みを進めています。

特別支援学校においては、学校だけでなく家庭や地域との連携が重要です。地域の皆様の温かな声かけや見守りは、こどもたちの大きな励みとなっています。本校では交流活動や行事を通して、地域とともにこどもを育てる機会を大切に、開かれた学校づくりを進めています。また、社会の変化に伴い求められる支援も多様化しています。本校では教職員の専門性向上を図るとともに、関係機関と連携しながら支援体制の充実に取り組んでいます。今後もこどもたちの笑顔と成長を支えるため研鑽を重ねてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

校長 伊藤 良輔

コミュニティスクールって なあに？ Q&A

地域の方々と、学校が協力することは
どうして必要なのですか？



国では様々なデータを元に、地域と学校が協働するように求めています。こどもたちへのメリットとしては、様々な方と関わることで、コミュニケーション能力の向上、地域への理解、関心が深まること、学力の向上などが上げられています。

七戸養護学校では、それらのメリットだけではなく、地域の方々、七戸養護学校のこどもたちや学校の教育活動への理解が深まることを期待しています。七戸養護学校のこどもたちが、将来地域の一員として、活躍する人材になるために必要なことだと考えています。

